取扱説明書
3M™ スコッチティント ™ ウインドウフィルム
3M™ ファサラ ™ ガラスシェード

プラスチック基材用フィルム

【適用範囲】

本書は以下の３M™スコッチティント ™ウインドウフィルム及び３M™ファサラ ™ガラスシェードに適用します。

- SH2CL-P
- SH2FGIM-P
- SH2EMOS-P

【施工】

詳細は見本帳及びマニュアルなどの専用資料（※）をご参照ください。本製品に特有の注意事項は【注意事項】を参照してください。
※『プラスチック基材用フィルム　施工手引書』（住友スリーエム㈱ コンストラクションマーケット技術部発行）

【注意事項】

各施工工程での詳細な注意事項は『プラスチック基材用フィルム　施工手引書』をご参照ください。

■製品に特有の注意事項

- 本製品は接着力が強く剥離しにくいため、貼り替えが困難となります。貼り替えが必要な部位への施工はしないでください。
- 本製品は内装用途に設計されており、日射が直接当たる外壁部での使用はお勧めしません。
- 本製品は３次曲面のプラスチック基材への貼り付けはできません。
- 本瀬品は施工時にスキージーで強く圧着する際の表面保護のために、製品から剥離した剥離フィルムで製品のフィルム表面を覆い、その上から圧着することを推奨します。剥離フィルムは粘着剤側の滑り性のよい面を上側にして圧着してください。
- プラスチック基材の表面は傷つきやすいので、プラスチック基材へ直接カッターが当たらないように注意してください。和紙テープ等でプラスチック面を保護してから使用してください。（詳細は施工手引書を参照ください。）
- プラスチック基材は一般に強い力でたわみやすいため、施工時、水を押し出す際にしわが発生することがあります。できる限りたわみの少ない環境下で施工ください。
- 施工時の水分が施工完了後もしばらくプラスチック基材とフィルムの間にわずかに残り、小さな水泡が残ったりフィルム面が曇って見えたりする現象（水残り現象）が発生しますが、通常フィルムが正しく施工された場合は、水分の蒸発とともに消滅します。但し、気温が低い場合、水が完全に抜けるためにはある程度日数を要することがあります。水抜けを促進するためには室内温度を上げ、強制的に送風すると効果があります。
- SH2CL-P は表層に耐摩耗ハードコート層を持たないため、上記方法で必ず施工してください。
- SH2EMOS-P は厚く施工液の水抜けが遅いので、フィルムに充分圧力をかけることができる高硬度のプラスチックスキージーで 2 度圧着を行い、確実に水分を押し出してください。ただし、プラスチックスキージーはフィルムの表面を傷つけやすいので、ペーパータオルを巻いたり、剥離フィルムを敷いたりしてスキージーが直接フィルム表面と接触することのないようにしてください。
- SH2EMOS-P は厚く施工現場や貼付時の切断が困難なので、仕上がり不良とならないよう予め仕上がり寸法に断採してください。

■一般的な注意事項

- ロットにより色柄に多少の差異が生じることがあるので可能な限り同一ロットを使用してください。
- 施工したガラスのフィルム表面にコーキング等の目的でマスキングテープのような粘着テープを貼り

付ける際には、以下の点に注意してください。
①粘着テープの弱粘着タイプのものを使用してください。
②フィルム表面に長時間貼付しないでください。
③粘着テープを剥がす際はテープをフィルム外側に向かって出来るだけ 180°に近い角度でゆっくり剥がしてください。

■製品選定に関する注意事項
特にありません

■使用環境（施工場所）に関する注意事項
・耐候性について
本製品は屋内使用なので耐候性がありません。屋外では使用しないでください。
・耐水性について
頻繁に水分と接触する場所（※）での使用はお勧めしません。
※水中、温泉、サウナ、温水プールなど
・耐熱性について
一時的に８０℃になる環境では問題はありませんが、常時８０℃になる環境では使用できません。
密閉空間など熱がこもりやすい場所への施工はお勧めしません。
６５℃以下の環境で使用してください。

■貼付施工に関する注意事項
・ウインドウフィルムをプラスチック基材へ貼付する場合はプラスチック用下地調整フィルム SH2CL-P を貼付し、その上からウインドウフィルムを重ねて貼付してください
・SH2FGIM-P、SH2EMOS-P の２製品はプラスチック基材に直接使用できます。
・貼付推奨温度：　１０℃～３０℃
・フィルムを小径に巻くと剥離フィルムから剥離（ポップオフ）することがあります。
・剥離フィルムから部分的に剥離（ポップオフ）したまま放置した後にフィルムを貼付すると、剥離した部分に痕が残ることがあります。フィルムがポップオフしたら直ちに貼付すれば剥離痕は通常残りません。
・製品ロットにより色調に差異が生じることがあるので、異なるロット製品を隣接して貼付しないでください。
・施工時の水分が施工完了後もしばらくガラスとフィルムの間にわずかに残り、小さな水泡が残ったりフィルム面が曇って見えたりする現象（水残り現象）が発生しますが、通常フィルムが正しく施工された場合は水分の蒸発とともに消滅します。但し、風通しが悪い場合や気温が低い場合にはある程度日数を要することがあります。水抜けを促進するためには室内温度を上げるか、強制的に送風するなどすると短時間で水が乾燥します。
・施工液にアルカリ系洗剤を使用すると粘着剤が黄変する可能性がありますので、必ず中性洗剤をご使用ください。

■使用上の注意事項
・フィルム表面に硬いものが接触すると表面に傷がつくことがありますのでご注意ください。
・フィルム表面にステッカーやシールを貼ったりマジックなどで書いたりしないでください。

【輸送・保管】
・ 高温、高湿と直射日光を避け、0～38℃の暗所に保管し、購入後１年以内にご使用ください。
※短時間であれば、厳しい条件でも使用可能ですが、変色､やけ等の外観変化や性能劣化が早まりますのでご注意ください。
・ 使用後のフィルムロールは、フィルムのゆるみがなくなるようにしっかり巻き締めて、端をテープで止めてフィルムがほぐれてこないようにしてください。
※フィルムの巻き方がゆるいままで保管すると、剥離フィルムとフィルムの間に空気が入り、外観不具合が起きる原因になりますのでご注意ください。
・ フィルムロールは専用のポリ袋に包み、開封前と同様の状態で保管ください。
※湿気を防止することにより、製品劣化を抑制します。
・ フィルムロールはロールの両端にキャップを取り付け､必ず宙づりの状態で専用の梱包箱へ入れて保管してください。

※1 つの梱包箱には複数本ではなく、1 本のフィルムロールを収納ください。宙づりの状態でない場合、表面の傷やしわ等、外観不具合の原因となる可能性があります。

・ フィルムロールよりカット済みのシート状フィルムは、その都度、使い切るようにしてください。
※シート状では上記推奨の保管方法が難しいため、外観不具合や性能劣化の原因となる可能性がありますのでご理解ください。

【清掃／メンテナンス】

フィルム表面に汚れを付着させたままにするとフィルムの劣化が早くなります。フィルムの性能を維持するために定期的に清掃を行なってください。清掃／メンテナンス方法の詳細については見本帳をご参照ください。

■清掃時の注意点

１）ゴムスキージやぬらした柔らかい布で軽く水洗いしてください（乾拭きは厳禁です）。
２）ブラシや研磨剤などは使用しないでください。
３）付着した塗料やコーキング材などは除去してください。
４）外貼り用のフィルムをクリーニングする場合は事前に多量の水で砂やほこりを除去してください。

【廃棄】

本製品の主素材はポリエステル系樹脂です。自治体の法令／指示に従って廃棄処分してください。

製品の仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて追うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限り当社は責任を負いません。
3Mは、3M社の商標です。

住友スリーエム株式会社
コンストラクションマーケット事業部

http://www.mmm.co.jp/cmd/scotchtint
http://www.mmm.co.jp/cmd/fasara

© 3M 2013. All rights reserved
IB-CMDSP02-03
2013/05/13